

2025 年度 傾斜的研究費（全学分）科研費チャレンジ 研究報告書

※本学 HP での公表を前提に記入してください。

【研究費区分】：②科研費チャレンジ（B）

【所属】：健康福祉学部 理学療法学科

【氏名】：板垣 篤典

【氏名フリガナ】：イタガキ アツノリ

【職】：助教

【研究課題名】：精神的ストレスと高齢者のオーラルフレイル：内分泌および自律神経に着目して

【研究実績の概要（400 字程度で記入。図，グラフ等の使用も可。）】

- ・ PT、OT、ST を含む 6 大学の教員が参画する学際的多施設研究体制を構築し、精神的ストレスと高齢者のオーラルフレイルとの関連について、内分泌指標および自律神経機能に着目した研究を遂行した。
- ・ 今年度は研究計画に基づき、地域在住高齢者約 250 例を対象とした測定会を実施し、口腔機能、身体機能、精神心理指標、自律神経関連指標等の包括的データ収集を行った。加えて、唾液や心拍変動、交感神経皮膚反応を用いたストレス関連指標の測定系を整備し、精神的ストレス評価とオーラルフレイルとの関連性を多面的に検討できる研究基盤を構築した。
- ・ 本研究費により、精神的ストレスが高齢者の口腔機能低下や身体機能低下に与える影響を内分泌および自律神経学的側面から解析するための基盤が整備された。また、現在得られた研究データの解析と国際誌への投稿準備を進めている。
- ・ 本研究の進展により、オーラルフレイルの新たな病態理解および予防戦略構築に資する知見の創出が期待される。

・

【本支援を用いた研究基盤整備の達成状況について】

- ・ PT、OT、ST を含む 6 大学の教員による学際的多施設共同研究体制を整備し、継続的なデータ収集および解析を実施できる研究ネットワークを構築した。
- ・ 地域在住高齢者を対象とした測定体制を確立し、口腔機能、身体機能、精神心理指標、自律神経関連指標（唾液中コルチゾール、心拍変動、交感神経皮膚反応）を統合的に評価できる研究基盤を整備した。
- ・ 精神的ストレスおよび自律神経機能評価に関する測定系の導入と測定手順の標準化を進め、多施設間で再現性の高いデータ取得が可能な研究実施体制を確立した。

・

【外部資金への応募状況】

〔研究代表者〕

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)

日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)

〔研究分担者〕

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)

研究代表者：杉本 一生（東京都立大学 客員研究員）

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)

研究代表者：近藤 郁江（東京都立大学 客員研究員）

・

【研究分担額】

板垣篤典,東京都立大学 健康福祉学部 理学療法学科,2,000,000（円）